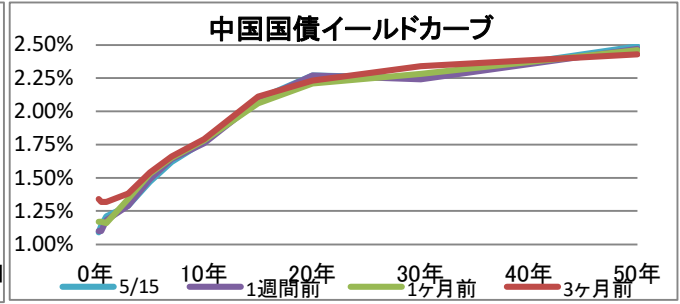
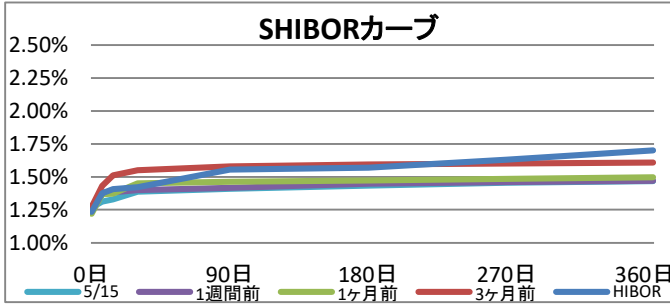


1.市場概況

基準レート		2026/5/15	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8415	-0.0087
	JPY/CNY	4.3126	-0.0433
SHIBOR	3M	1.4080%	-0.0090%
国債利回り	10年	1.77%	+0.01%
上海総合指数		4,135.39	-44.56



(1) 概況

国際金融市場は、中東情勢の改善が見通せない中、米中首脳会談への期待から株式市場ではハイテク関連を中心に高値を維持していたものの、米中首脳会談後も原油価格の上昇が続き、債券市場がインフレと米経済の堅調さを背景に利上げへの懸念から急落（利回りは大幅上昇）すると、株式市場も反落し、外為市場ではドルが上昇に転じ、金はドル高と金利高から大幅下落、ビットコインも反落する展開。

中国金融市場では、堅調な貿易統計やインフレ率の上昇にもかかわらず、短期資金市場の金利水準が低位で安定していることもあり、債券市場が底堅い（利回りは低下基調）一方で、株式市場は米中首脳会談後の海外市場の下落の影響もあって下落に転じ、外為市場でも人民元が1ドル=6.78台の3年来の高値水準から下落に転じて6.80台半ばに戻す展開。

中国では、習主席が訪中したトランプ大統領との会談で、今後3年間及び長期に亘る両国関係の指針となる新たな「建設的戦略安定関係」の構築に合意し、両国はライバルでなくパートナーになるべきと主張し、随行した企業幹部との会談では、中国の門戸を更に開く方針や米国による対中互惠協力の一層強化に対して歓迎の意を表明。李強総理は、国務院常務会議を開催し、習主席が重要演説で示した経済状況・経済政策運営と基礎研究強化に関する方針を受けて具体策を研究し、地方政府債務リスク解決に向けた取り組みの検証を実施し、何立峰副総理は、米財務長官との韓国会談で経済貿易問題の解決や実務協力拡大に関して率直で建設的な意見交換を実施。国務院弁公庁は、2026年度の立法業務計画で、金融法案や中国人民銀行法改定案等の全人代常務委員会での審議予定等を公表し、国家発展改革委員会は、5月9日からガソリンと軽油価格の上限引上げを決定し、公表した「中国ビジネス環境発展報告（2026）」では、市場参入障壁の撤廃や「内巻き」式競争の是正、企業に係る行政執行のルール化等について法令や事例と共に紹介。中国人民銀行は、金融政策執行報告（26年第1四半期）で、適度に緩和的な金融政策を継続し、多様な政策手段を活用して市場流動性と社会融資総量の緩和を維持する方針を示し、証監会は、同会が所管するデリバティブ業界における初の部門規則である「デリバティブ取引監督管理法（試行）」を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日535億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日800億元に対して、リバースオペ25億元、アウトライトリバースオペ（6カ月）3,000億元（5/18に8,000億元の期日あり）を実施し、1,690億元を供給。

(3) 主な経済指標

・PPI（4月）は、前年比+2.8%（3月、同+0.5%）と、ほぼ4年ぶりの高水準かつ2カ月連続の上昇となり、原油を中心に鉱業や原材料の価格が大幅に上昇する中、生活財は低下幅は縮小しているものの価格低下が続いている。前月比でも+1.7%（3月、同+1.0%）と7カ月連続の上昇。

・CPI（4月）は、前年比+1.2%（3月、同+1.0%）と、大幅に上昇する燃料を主因に伸びを高めたものの、食品は下落に転じ、日用品等の伸びは鈍化しており、食品とエネルギーを除くコアは+1.2%（3月、+1.1%）と小幅な伸びとなっている。前月比では+0.3%（3月、-0.7%—春節の季節要因による）。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2670%	1.3300%	1.2804%	
1W	1.3130%	1.3700%	1.3515%	1.2500%
2W	1.3290%	1.3100%	1.3804%	1.2600%
1M	1.3880%	1.4000%	1.3795%	1.2800%
3M	1.4080%	1.5200%	1.4000%	1.3600%
6M	1.4335%	1.5400%		1.3900%
9M	1.4555%			1.4300%
12M	1.4680%			1.4500%

中国人民銀行は、日々最低限の資金供給に止め、アウトライトリバースオペを減額する、資金供給を絞る調整を継続しているものの、金利水準は一段と低下しており、月内物は概ね1.3%台で取引され、ターム物も1カ月が1.3%台後半に低下して出合っている。

NCD市場の金利水準も、低位で安定した状況に変化なく、ターム物の金利水準は1カ月が1.2%台後半、3カ月が1.3%台半ば、6カ月は1.3%台後半、1年も1.4%台前半に低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.65%	3.68%
1W	3.70%	3.72%
1M	3.76%	3.80%
3M	3.80%	3.85%
6M	3.85%	3.95%
12M	3.85%	3.95%

中国国内市場では、利上げ懸念から金利水準が高止まりする状況ながら、資金需給は改善してきており、ターム物の出合いは限定的ながら、1カ月かが3.7%台後半、3カ月が3.8%台で出合っている。

### 3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.09%		1.38%	1.43%	1.49%
6M	1.14%		1.40%	1.43%	1.49%
1Y	1.21%	1.28%	1.45%	1.50%	1.56%
3Y	1.29%	1.41%	1.56%	1.70%	1.84%
5Y	1.47%	1.52%	1.65%	1.82%	2.13%
10Y	1.77%	1.90%	2.07%	2.17%	2.62%

米国債券市場は、中東情勢の先行き不透明感が拭えない中、米中首脳会談でも改善見通しが得られなかったことから、原油価格が一段と上昇し、インフレ率の高まりと経済の底堅さが確認されたことにより利上げ懸念が高まり、一段と下落（利回り上昇）することとなり、債券利回りはほぼ1年ぶりの水準まで上昇。

中国債券市場では、週初のインフレ指標で物価の一段上昇を確認後も目立った動きはなく、世界的な利回り上昇の影響も限定的で、短期資金市場金利の更なる低下も手伝って、利回りは一段と低下。イーールドカーブは、全体的に小幅ながら下方にシフトを続ける中で、利率債の利回りが下げ渋る中、利回り低下余地の残る信用債中心に低下したことから、クレジットスプレッドは縮小傾向を維持。

この結果、10年米回国債利回りは4.59%（前週末比+24bp）へと一段と上昇し、10年中国国債利回りは1.77%（同+1bp）とほぼ変わらなかったことから、利回り差は282bp（同+23bp）へと一段と拡大。

### 4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-160.0 / -159.0
3M	-432.0 / -430.0
6M	-855.0 / -853.0
9M	-1,280.0 / -1,277.0
12M	-1,690.0 / -1,687.0

対ドル基準レートは6.8415と前週末比-87pipsのドル安元高、対円基準レートは4.3126と同-433pipsの円安元高と、対ドル基準レートは2023年3月以来の元高水準（実勢比では大幅元安水準）。

中国国内市場では、週初に公表された輸出の大幅増加や米中首脳会談での元高圧力への懸念から、2023年2月以来となる1ドル=6.79元前後のドル安元高水準で推移していたものの、中東情勢の懸念と米長期金利の上昇によるドル高等から、1ドル=6.80元台半ばに戻して週末を迎えている。

先物は、直物市場での元高が一服や、インフレ懸念からの利上げ懸念台頭によるドル金利の高止まりから、ディスカウント幅は一段と拡大し、1年物では-1,600台後半まで低下している。

### 5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.44%		1.40%
6M	1.45%	1.45%	1.40%
9M	1.46%	1.46%	1.40%
1Y	1.46%	1.47%	1.40%
3Y	1.51%	1.54%	1.40%
5Y	1.59%	1.62%	
7Y	1.65%	1.70%	
10Y	1.74%	1.79%	

金利スワップ市場は、短期の基準金利が低位で安定し、債券利回りも低下を続けているものの、スワップ市場の金利水準は下げ渋る格好となり、スワップスプレッドの拡大傾向が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。